FOR REAL

Zippo®

ZIPPO HOT NEWS SPECIAL ISSUE

VOL.11 AUTUMN/WINTER
ジッポー・ホットニュース・スペシャル '03秋冬号

ナショナル・ジッポー・デー開催

ZIP-TALK 高橋 克彦

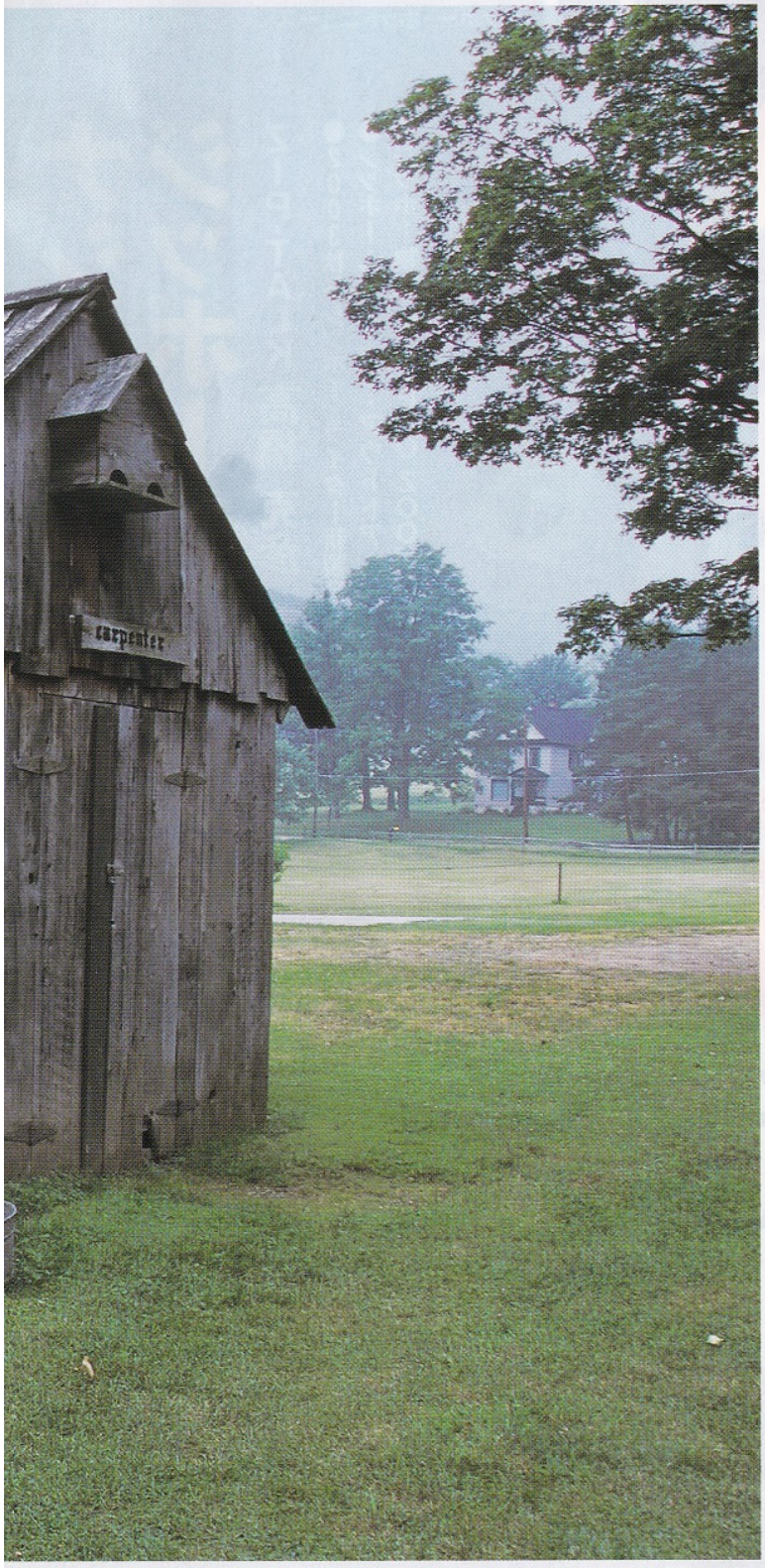
- 2003秋冬ジッポー・ライター新製品ガイド
- ジッポー・アメリカン・アウトドア・ファッションズ
- ジッポー物語 ●ZIPPO ZOOM UP



ブラドフォード点描⑪

「クルック・ファーム」

アーリー・アメリカン・ライフの夢の跡。



この「Carpenter」の表札がみえる木製家屋は、アメリカの歴史的建物保存地区に指定されている「クルック・ファーム」の大工棟。このほか機織棟、道具棟、教室棟があり、敷地には野菜畑、花壇、そして当時の油井も残されている。

この農場は一八四七年にエラスタス&ベッシー・クルック氏が造営し、その後、一九七四年まで三代にわたり住居としていた。現在は「ブラドフォード史跡保存協会」が管理し、四季折々に行なうイベント「カントリー・フェア」「スクール・デー」などでは、機織実演、野菜づくり、ハーブづくり、講演などが催され、家族ともども懐かしき一五〇年前にタイム・トリップできる楽しみを提供している。

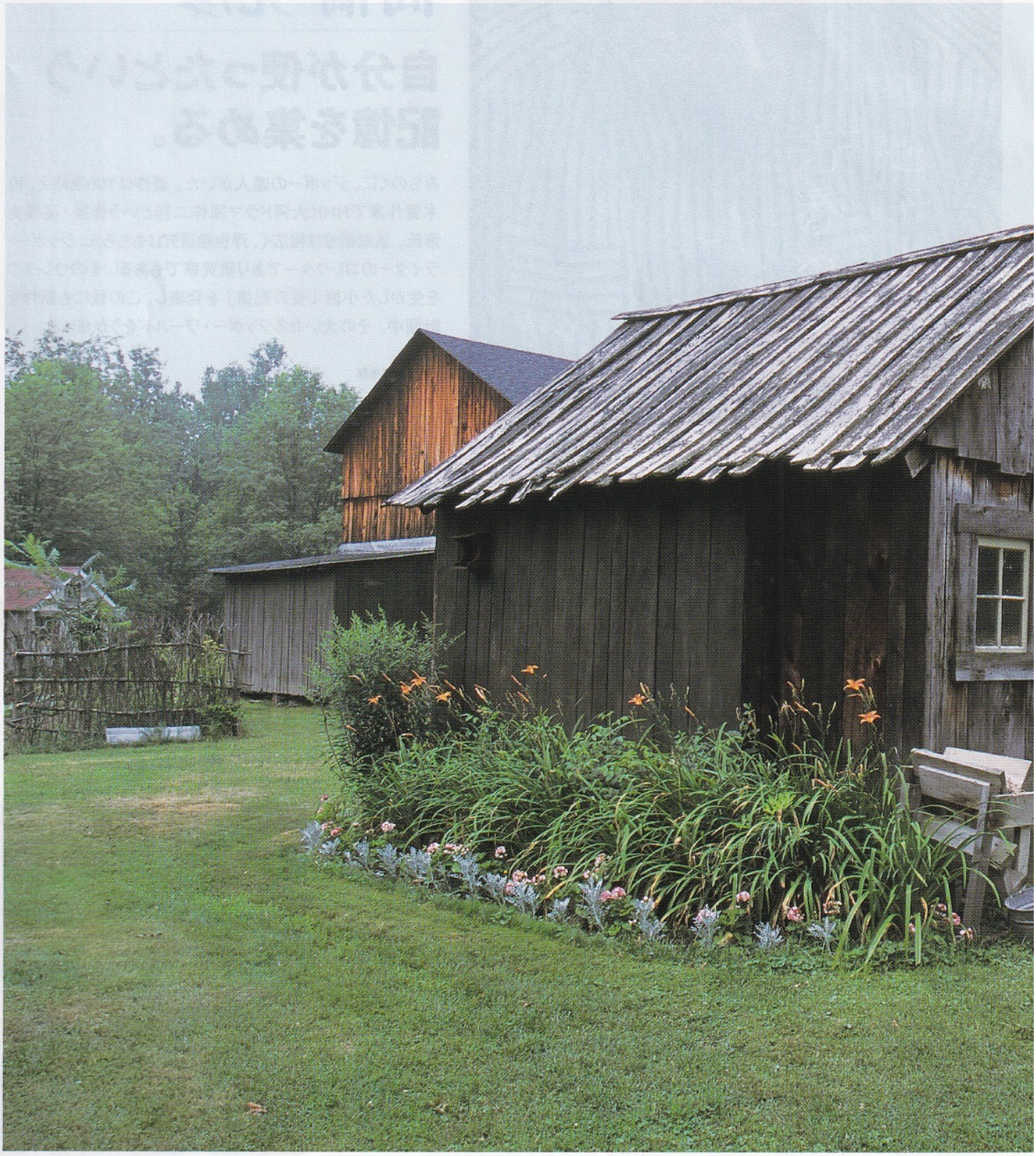
史跡保存を担うオフィスは、市内にある「八七〇年代のパン屋さん跡「ハービッグ・ベーカリー」内。ジッポー社のあるブラドフォード一帯は歴史的建造物指定エリアで、その保存運動やPRに忙しい。ウィンドウをのぞくと、コレクティブルなジッポー・ライターも拝見できる。二〇〇二年に発売された「ブラドフォード歴史的建造物シリーズ」は、もちろんのことである。

ブラドフォードから1マイル北、シーワード・アベニューにある。3ドルだが、予約が要る。



CONTENTS

02 [ブラドフォード点描⑪] クルック・ファーム
04 [ZIP-TALK⑩] 高橋 克彦
「自分が使ったという記憶を集める」
06 「2003年ナショナル・ジッポー・デー」開催!
08 OTLS「第17回 コンベンション」開催!
09 ZIPPO OSAKA SWAP MEET 2003
10 2003ジッポー・ライター新製品ガイド
WORLD MODELS
FALL CHOICE 2003
ジッポー デザイン加工の知識
12 JAPAN MODELS
14 LIGHTER ACCESSORY COLLECTION
15 It's a Zippo's Story.
ジッポー・ストーリー傑作選②
16 ZIPPO AMERICAN OUTDOOR FASHIONS 2003
19 ジッポー物語 第4章／ジッポー・スタイル完成
22 ZIPPO ZOOM UP
コレクター登場
ZIPPO SHOP TOUR
24 FROM ZIPPO





ZIP-TALK 10



高橋克彦／作家。岩手県盛岡市生まれ。早稲田大学商学部卒業後、美術館勤務を経て、1958年「写楽殺人事件」で第29回江戸川乱歩賞を受賞。その後、61年「総門谷」で吉川英治文学新人賞、62年「北斎殺人事件」で日本推理作家協会賞、平成4年「緋い記憶」で第106回直木賞、12年「火怨」で吉川英治文学賞を受賞。著書に、NHK大河ドラマの原作ともなった「炎立つ」（全5巻）、「北条時宗」（全4巻）をはじめ、「竜の柩」などがある。また、浮世絵研究家としても知られ、著書に「浮世絵鑑賞事典」「新聞錦絵の世界」などがある。

作家
高橋 克彦

自分が使ったという記憶を集める。

みちのくに、ジッポーの達人がいた。著作は100を超え、直木賞作家でNHK大河ドラマ原作二回という作家・高橋克彦氏。活動領域は幅広く、浮世絵研究はもちろん、ジッポー・ライターのコレクターであり研究家でもある。そのウンチクを生かした小説「炎の記憶」を発表し、この秋にも新作を計画中。その大いなるジッポー・ワールドをうかがった。

聞き手／編集部

年代により面白味も変わる

――タバコは、どのくらい？

高橋　日に四、五十本ですね。ジッポーのおかげで、タバコが止められないのかもしれません。唯一の欠点は、本数をふやすことですね。（笑）

――それにしてもわれわれ喫煙者は、いじめられていますね。

高橋　いま、喫煙者は疎外されていると思うんです。片隅のコーナーに追いやられ、タバコを目の敵みたいにしていて。喫煙者は自分の立場をよくわきまえて行動し、遠慮しているのに非喫煙者は大きな顔をしている。喫煙者のほうが、やさしさがあると思いますよ。

――大賛成。で、いつから、ジッポーをお使いですか？

高橋　十八歳のときからタバコをやっていまして、二十代からずっとですね。年代によって楽しみ方や面白味も変わってきて。東京に出てきた時代から三十代にかけてジッポーの奥深さを知りました。あるとき見つけた銀無垢のジッポーが、気に入りましてね。「これだ」って、思いました。当時流行った口ンソン、カルチエなどの高級ライターは自分の性に合わず、それをバーやスナックなどで見せつける趣味はありませんでしたし、銀無垢のエンジンタン柄を手にしたときの感覚、ジッポーでもちょっと高級な感じがピタッときましたね。

――四十代以降の楽しみ方は？

高橋　物書きになり、懐を心配することもなくなったので、レプリカとか、ケース素材の新しいものや好きなデザインのモデルを買い漁りました。一ヶ月に二〇〇個買ったこともあります。五十代に入ってからは、メカは同じでも表面の違いや音の違いが楽しめるようになり、メタリケのような楽しさもありますから。アキのこないのは、ジッポーならではですね。自分のかなわない夢がかなえられた喜びでいっぱいです。（コレクションの一部を披露）

――何個くらいお持ちでしょうか？

高橋　一〇〇〇個ほど。でも、実際にはもっと買っている。そのほかに三〇〇個くらい別にありましたね。

――それは、なぜ？

高橋　編集者の方たちに差し上げることが多いんです。ですから、同じ物をいちどにたくさん買うこともあります。（笑）

――編集者のみなさんがうらやましい。で、お買いになるのは、どちらで？　盛岡に大きなジッポー専門店がありますね。

高橋　あ、市内のスパークさんですね。行かれましたか。それまでは東京に出たとき、アメ横とか、新宿の地下街の専門店で探しモノをしていたんですが、その店の展示数量に驚いて、もうこれならここ盛岡ですべて間に合うなと思いました。すでに五〇〇個くらい買っているかもしれない。

――店長さんも、そのようにおっしゃっていました。ジッポー・コレクションも盛岡が中心なんですね。

高橋　そうですね。いまはＦＡＸ、メールなどがあり、仕事で二ヶ月に一度くらい上京する程度。盛岡でＯＫなんです。遊びに行くのも温泉にちょっと行く程度。外国に行くことも嫌いで、というより可愛がっている猫タマちゃん、正式名タマゴがいまして、どこにも行けま



お気に入りの1932レプリカなどの絵柄を楽しむ。

せん。我が家の前にずっといて可愛そうで家の家族にし、我が家に住み着いています。

デザインと音を新作モデルで楽しむ

――コレクションのテーマは？

高橋　僕はコレクターとは、考えていません。ジッポー研究者です。集めるものは、自分が使ったという記憶。ビンテージ系は、まったく興味がないんです。それは新品と言っても発売時からペイントがはげてきますし、価値があるのは二、三年だと思う。研究している三〇〇年から四〇〇年前の浮世絵と比べると、たかだか七〇年ですから。ジッポーは、美術工芸品ではないです。モノの美しさを重視しているわけで、僕は新作中心です。

――それでは、あまりインターネット・オークションには参加しない？

高橋　あまり好きじゃないですね。その価値以上に高騰することもあり、こちらも熱くなってしまうので、あまり入り込めません。

――ジッポー情報は、どうやって？

高橋　ジッポー本社やショップのホームページです。

――いちばん好きなモデルは？

高橋　1932レプリカ。二〇〇個くらいあり、力強い手ごたえが気に入っています。角張っていて使いづらいともいわれますが、僕は部屋で使っており、OKなのです。手触りや手応えの違いが魅力、カチンとやって手で持つ楽しみがあります。

――いま、お探し中のモデルは、ありますか？

高橋　そう、恐竜のメタルが貼ってある、バレット・スマイス。あれ、いまなかなかないですよね。

――お使いになっているのは？

高橋　このスターリング・シルバーはもちろん、いつも八個くらい使っており、出かけるところに合わせて、デザインを選んでいます。夏はプラチナ仕上げ、冬は分厚い奴とか、季節や出かける先によって使い分けしてるんです。

――数多いとオイル切れなどの手入れが大変では？

高橋　それぞれ毎日オイルのチェックを行ない、フリントも同様で、三分の一くらいになったら、すぐ取り替えるんです。



コレクションの一部を披露、自宅の応接間にて。

自ら修理して命を蘇らせる感動

高橋　ジッポーではまっているのは、修理の楽しさ。ずっと使えるものですから。カバンの中に道具を各種そろえて、持ち歩きました。細く先端がL字型になった細い金属棒なども用意し、フリント・チューブの手入れもやります。ふたの中を入れ替えたり、人の分まで直しますよ。友人のホコリだらけのひどい状態のライターの芯を変えて、オイルを充填し、最初にヤスリを回し、美しい炎を立ち上げたときの感動はこたえられません。命をよみがえらせたすばらしさです。

――直ったときの最初の着火音がうれしいですね。

高橋　ジッポーというのは、ひとつひとつ着火音が違いますね。素材、表面プリント、ケース・バリエーションにより、みんなふたの音が微妙に違うんです。最近では、1941レプリカの音がいいですね。

――わかります。執筆時ではジッポーの「多彩」な着火音を？

高橋　執筆は大体夜九時くらいからはじめ、翌朝まで。ジッポーをいくつかおいてあり、うちの家内は執筆がすすんでいるか、その調子は、ジッポーの音でわかると言います。（笑）



手馴れたアクションで一発着火。

ジッポーを知らない人のために新作執筆中

――ジッポーの音を主題にした小説があるとか？

高橋　あるとき、ジッポーの話を編集者と話していたとき、「ジッポーとのかかわりあいをそのまま書いたらいかがでしょう」と言う話がありまして、書いたのが「炎の記憶」。ジッポーの知識をぎゅっと吐き出した感じで、第二次世界大戦中の、あの黒いペイントのブラック・クラッケルを題材にしています。安物のスチールをベースにしているので、音が違うということから謎に迫る…。

――先生は、またジッポーに関した著作の計画があると聞きましたが…

高橋　そうです。いままでのジッポー専門書は、好きな人が買うものだと思うんです。いま進行しているのは、ジッポー研究はもちろん、数人の対談もいれたり、小説も入れたり、「知らない人が買っても楽しめる本」。ウンチクではなく、ちょっと深いところからふれている入門書です。PHPで、この秋以降、発刊予定です。

――大いに楽しみしています。

（地震で揺れた二〇〇三年七月、盛岡市の高橋克彦邸にて）

「炎の記憶」が所収された「蒼い記憶」（文春文庫）



★高橋克彦の新書刊行予定

「ジッポーが世界に火をつけた」（仮題）
～戦争と愛憎の70年史

人類が火を支配するとは、ジッポーと戦争の歴史、文学作品の中のジッポー、ジッポーにこだわりを持つ著名人のエピソード、ジッポー派・マッチ派・パイプ派、高橋克彦のコレクション など

発刊／2003年9月以降
出版社／PHP研究所　新書発刊部

NATIONAL ZIPPO DAY 2003



ケース社傘下入り10周年記念「2003年ナショナル・ジッポー・デー」開催!



テントではさまざまなイベントが参加者を楽しませた

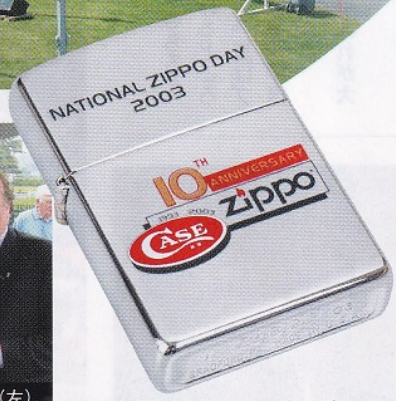
夏のイベントとしておなじみとなった恒例のファン感謝デー「ナショナル・ジッポー・デー」は、ケース社のジッポー社傘下入り10周年を同時に記念する盛大なものとなった。7月18日から19日まで、ジッポーの故郷・ペンシルバニア州ブラドフォードのジッポー/ケース・ビジターズ・センター前広場で開催。「ナショナル・ジッポー・デーが来なければ、ブラドフォードの夏は来ない」と言われるほどのこのイベントをブラドフォードの人々はもちろん、世界中のジッポー・ファンが心から楽しんだ。

やはりいちばんの目当ては、「バーゲン・テント」と「記念ライター」

ジッポー・デーで最も有名なのは、やはりバーゲン・テントだろう。今年のナショナル・ジッポー・デーは、ケース社のジッポー社傘下入り十周年を祝う特別な年。ハイポリッシュ・クロームのジッポー・ライターと、バーント・アンバー・ボーン・コッパーロックのケース・ナイフがセットになったコメモラティブ・セットを手に入れようと、朝七時という早いオープンにもかかわらず、熱心なファンがビジターズ・センターに多数詰めかけた。ほかにも掘り出し物のライター、格安のライター、アクセサリー、スポーツ・ウェアなどの品定めにも熱心だった。



記念ナイフを手にしたジッポー社オーナー、サラ・ドーン(左)、ジョージ・デューク(右)、中央左はケース社・社長、トム・アロースミス、中央右はジッポー社・社長グレッグ・ブース。



第10回ナショナル・ジッポー・デーを祝う記念ライター



ビジターズ・センター内のショップ





熱心なライター選びがつづく



テント内ではジッポー談義に華がさく



人気のバーゲンテント

ダウンタウンではサマー・フェスタが開催

一方、ダウンタウンでもおなじみのサマー・フェスタが開催された。前夜祭では、スウィング・ストリート・バンドが明日からのサマー・フェスタを参加者らとともに祝った。メイン通りでは、地元の人々によるサイド・ウォーク・セールやビンテージ・カーが集まるカー&モーターサイクル・ショー、とれたての野菜を即売するファーマーズ・マーケットなどのイベントが目白押し。また、PLPGのオール・ライター・ショーもブラドフォード市内のホテル「ベスト・ウェスタン」で開催され、それぞれが自慢のコレクションを展示していた。

ブラドフォードを凱旋するモーターサイクル・ダイス・ラン

七月十九日、ナショナル・ジッポー・デーとスワップミートではおなじみの光景となった「モーターサイクル・ダイス・ラン」も行なわれた。この日集まったバイカーは、およそ六百人。ガンと闘う子どもたちへのチャリティも兼ねて開催されるイベントとして、ハーレー乗りたちの間でも有名になっている。先導するジッポーカーが走る姿も名物のひとつ。ブラドフォードのメイン通りに入ると、街行く人々の大歓声。強面のバイカーたちも、その声援に笑顔で応えていた。



地元紙「ブラドフォード・エラ」が報じたジッポー・デー。


先導するのはジッポー・カー


モーターサイクル・ダイス・ランがいよいよスタート






ジッポーの炎をあしらった帽子が目を引く

すべてのファンとともに楽しんだ「ナショナル・ジッポー・デー」。

ジッポー社・輸出部長リック・ペディーヌご子息
マーケティング・コミュニケーション部研修生　**リッチ・ペディーヌ氏**

二〇〇三年七月十八日、ジッポーとケース・ナイフのコレクターたちが「第十回ナショナル・ジッポー・デー」と「ケース社のジッポー社傘下入り十周年記念」を祝おうと駆けつけてくれました。コレクターズ・クラブ「ジッポー・クリック」は二年目を迎え、クラブ会長とともに多くの会員がメンバーシップを更新しました。

ナショナル・ジッポー・デーでは、ケース社のジッポー社傘下入り十周年を記念して、ケース社の社長兼CEOのトム・アロースミスから、ジッポー社オーナーのサラ・ドーンとジョージ・デュークにパール・ナイフの贈呈が行なわれました。それぞれのナイフにはサラとデュークの名前が彫られています。それは、過去十年間のジッポー社の支援に対する、ケース社の従業員からの感謝の気持ちであるのです。

七月十九日には、ガンで苦しむ子どもたちのために、六百台以上のオートバイがモーターサイクル・ダイス・ランに参加してくれました。グレッグ・ブース社長と私の両親もハーレーに乗り込み、このダイス・ランを先導しました。

すべてのコレクターにとって、いちばんのお気に入りはやはり巨大なセール・テントでしょう。今年も例外ではなく、掘り出し物のライターやナイフ、記念アイテム、衣類やオーバーラン・ライターなどを手に入れるのに一生懸命でした。また、多くの人たちがビジターズ・センターで無料彫刻を利用していました。今年からは、マルチ・パーパス・ライターにも彫刻することができるようになりました。ほかにも、ジッポー・カーの前で写真を撮ったり、ジッポー社のアート部門が最新の技術を発表したりと、すべての人にとって楽しい週末になったと思います。ナショナル・ジッポー・デーの様子はジッポーのウェブサイトでも公開しています。そちらもぜひチェックしてください。（寄稿）




社長らがジッポー・カーの前で記念撮影



カスタマー・サービスでは多くの女性が笑顔で応対



特製ナンバー・プレート


創業者の生家をデザインしたジッポーとそのミニチュア

On The Lighter Side



コレクター・クラブ「OTLS」、第17回コンベンション開催!



テリー・トーキン氏によるライター・セミナー



ブース・ディスプレイ会場





人気のオークション





左はビジターズ・センター館長のリンダ・ミーボーン女史
OTLS会長のジュディス・サンダース女史



オークション参加者は品さだめに忙しい





ライター・ファンを自称する人は多いと思うが、ジッポーに限らず、さまざまなライターのコレクターが集まるクラブとしては、OTLS（On The Lighter Side）が最も有名なクラブのひとつだろう。OTLSは一九八四年三月に、現会長でもあるジュディス・サンダース女史が中心となり三人で立ち上げたが、現在では世界十二か国に八百人以上の会員を有する、名実ともに世界最大級のクラブのひとつになっている。おもな活動は、機関誌の発行（隔月）、年一回のコンベンションなどだ。

六月十九日から二十二日、クラブ発足二十周年を記念する十七回目のコンベンションが、ジャズ発祥の地としても有名なアメリカ南部ルイジアナ州ニューオリンズの「ラディソン・ホテル」で開催された。全米を中心に約二百名の参加者が集まり、連日ビンテージ・ライターに関するさまざまな情報交換が行なわれた。

コンベンションの中心はなんといっても、二十・二十一日に行なわれたブース・ディスプレイ。スワップミートでおなじみの参加者がブースをディスプレイし、自由に販売・交換・フリーキングを行なう。参加者のほとんどがこのブースを出展し、ご自慢のライターを陳列していた。OTLSはビンテージ・ライター全般のクラブではあるものの、半数近いブースでジッポーが扱われており、ジッポーの人気をうかがい知ることができた。定期的にミニ・オークションや抽選によるプレゼントなども実施され、出展者を飽きさせない工夫も多彩だった。

おもにアメリカのビンテージに関するコレクター・クラブは、年輩の夫婦が多いのが特長になっている。日本のコレクターは比較的若い世代が中心となっているが、アメリカでは仕事をリタイアした夫婦が第二の人生を謳歌しつつ、定期的に開催されるイベントにふたりで参加することが多い。若い夫婦なら、キャンピング・カーでバカンス気分を味わいながら何日もかけてニューオリンズまでやってくる。

「OTLSはアットホームな雰囲気で、コレクションとしてのライターを楽しむクラブです。

この感動は、一生忘れない。

Zippo OSAKA SWAP MEET 2003

Zippo OSAKA SWAP MEET 2003

いよいよ9月28日(日)開催!

9:30～17:00（入園は16時まで・雨天決行）

会場／**万博公園内・お祭り広場**

（JR「新大阪」駅より電車で30分。大阪モノレール「万博記念公園」駅、「公園東口」駅下車）
入場無料（ただし、万博公園自然文化園の入場料250円は別途必要です）

※9月27日（土） ウェルカム・パーティー（前夜祭・有料）開催

ジッポーのすべてに逢えるスワップミート。

過去最高の延べ160ブースの出展が予定されており、全国からさまざまなジッポーが集結する。また、大阪スワップミート2003のロゴ入りジッポーやTシャツ、ジャンパー、キャップ、トートバッグ、ピン・バッジなどの公式記念グッズの販売はもちろん、ジッポー・グッズのタイム・バーゲン、ライター新製品紹介、キャンプ用品実演コーナー、オーナー・社長サイン&握手会、お楽しみ抽選会など多彩なイベントも行なわれる。2年に一度だけのチャンス。ぜひきみも、このコレクション・フィールドに参加してみないか。

最新情報は、zippo-japan.comをごらんください。

公式記念グッズ


純銀ライター
（連番入り・コンピュータ彫刻）


#250モデル
（エッチ&ペイント）

※写真はいずれも試作サンプル


ピン・バッジ


Tシャツ


ジャンパー


キャップ


トートバッグ

●主催／ジッポー・マニュファクチャリング・カンパニー　●共催／伊藤商事（株）・マルカイコーポレーション（株）・ヨシナガ（株）・ヒューマンフレーム（株）・（株）サンリーブ・興栄工業（株）・伊藤忠ファッションシステム（株）＋ZIPPO CLUBライセンシング・グループ　●実施／ジッポー大阪スワップミート実行委員会
●お問い合わせ／ジッポー大阪スワップミート事務局　TEL052-581-5151　FAX052-581-5010



記念ジッポー

NEW ORLEANS 6/19→23


パーティー


オークション風景

発足当初から参加しているメンバーが多く在籍していることも自慢のひとつです。日本ではジッポー・ライターが圧倒的な人気を得ていますが、ほかにもすぐれたライターはたくさんあります。ライターというコレクションを通じて、いろいろな方との交流を深めてほしいと思います」。

今回、日本からの参加者は六名ほどであったが、「日本のコレクターを歓迎します。どんどん積極的にOTLSに参加してください」という、会長ジュディスの笑顔が印象的だった。

なお、OTLSではクラブへの参加方法をホームページ（http://www.otls.com/）で公開している。ぜひチェックしてみてほしい。

（取材協力／椎橋 清一）

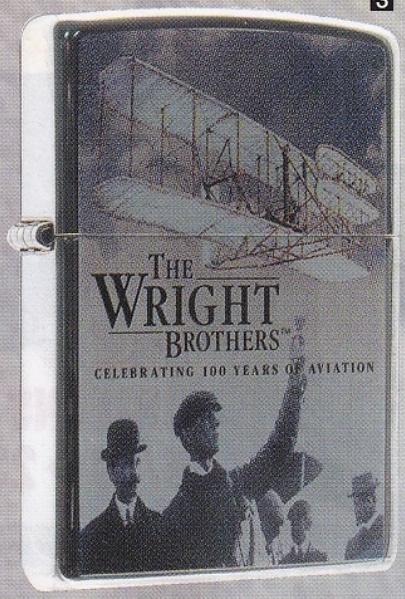
ジッポーの力作デザインが勢揃い「フォール・チョイス2003」

ジッポー・デザイナーから出された何百というアイデアのなかから、かつてないほど洗練されたコレクションを集めた「フォール・チョイス2003」。新しい仕上げ、新しい加工技術、革新的なパッケージ、そして限定品の数々。この秋、きみは見たことのないジッポーの世界を目の当たりにする。

ライト兄弟飛行100周年記念モデル
The Wright Brothers 100years of Aviation Celebration

1904年、オハイオ州デートンの自転車屋ウィルバーとオーヴィル兄弟は、鳥が飛ぶ様子を観察し、操縦テクニックを学び、苦労の末に初飛行に成功する。「空を飛べたら」という人類の夢を実現したのだ。いまジッポーは、この歴史的なチャレンジ・スピリットをボディに残した。特製スリーブ入りで、限定3モデル。

3



2



1



①No.20422 ②No.20421 ③No.20424

4



6



5



④No.20499
⑤No.20497
⑥No.20498
⑦No.20496
⑧No.20495

プレイボーイ50周年記念モデル
The PLAYBOY 50 years of Launch

1953年の創刊以来、つねに世の男性を魅了しつづけてきたアメリカの雑誌「PLAYBOY」。誕生五十周年を記念して、新たな5モデルが誕生した。プレイボーイの象徴でもあるセクシーな女性柄、キャラクターのウサギのイラスト柄など、プレイボーイ・ファンならずとも、ぜひ手に入れたくなるシリーズに仕上がっている。

8



7



10



9



ニューヨーク市警
New York City Police Department

世界を代表する大都市を守るニューヨーク市警のロゴと「NYPD」をデザインしたモデル。鮮やかな星条旗とともに、いかにもアメリカらしい仕上がりになっている。

⑨No.20486
⑩No.20487

※本ページのお問い合わせは、伊藤商事(株) TEL03-3562-5811・マルカイコーポレーション(株) TEL06-6443-0072まで。

ジッポー デザイン加工の知識

表面加工

ジッポーにはじつに多彩なデザインがあるが、よく見るとその加工方法にもさまざまなものがあることがわかる。同じ図柄でも加工によってちがう表情を見せてくれるのも、ジッポーの魅力のひとつだ。

【エッチ&ペイント】

耐酸性塗料を使用してデザインをシルク・スクリーンで写し、エッチング部分のみを表出させ、それを酸性液体に侵すことでエッチングを施す。つぎに、溝の部分に一色ずつ着色し、カラフルなグラフィックをクリアに表現する。美しさが長持ちするので、多くのファンから愛されている加工技術である。

【ラスター・エッチ】

エッチング部分にも輝きを与える繊細で上質な仕上げで、刻印された文字やイラストなどが複雑に反射し、ボディをほの明るくつつむ。エッチング工程まではエッチ&ペイント工法と同じだが、着色のかわりにメッキ加工を行ない、最後に表面を研磨する。これによって、デザインに微妙な立体感を生みだすことができる。

【表面プリント】

マット仕上げやミッドナイト・クローム仕上げのモデルに使われる加工法。エポクシー塗料を使用し、シルク・スクリーンによって一色ずつ着色していく。その後、塗料は加熱・硬化処理が施され、ボディにしっかりと定着する。そのためデザイン自身が仕上げの一部となり、なめらかで色落ちしにくい仕上がりになる。

【レーザー彫刻】

特別なオーダーに応えられる最新のレーザー技術で、精密で正確なデザインが再現できる。ジッポー社ではコンピュータ・プログラムしているので、どんなデザインでも、加工が可能だ。仕上がりは、きわめて美しいのが特長。

【コンピュータ彫刻】

アメリカ最大数のオンライン化した最新のコンピュータ彫刻機器を導入し、キーボード入力またはデジタル化された作品自体を使って彫刻していく。ロータリー彫刻法とダイヤモンド・カットの2方法を使いわける。この先進機器を駆使したアート・システムで、ジッポー社は業界の先駆者となっている。

11



ハリウッド
HOLLYWOOD
いつの時代もわたしたちに夢を与えてくれる、映画の聖地・ハリウッド。その100周年を記念したモデルはハリウッド・ファンならずとも、ひとつは手に入れたい。
⑪No.20489



シボレー
CHEVROLET
⑬No.20521



フォード
FORD
⑫No.20427







チェック&ドット
CHECK & DOT
⑭No.20194
⑮No.20429

ジッポーの哲学は変わらなくとも、つねに進化を遂げていく。

ムード・インディゴに刻まれた、ジッポーの歴史と自然の美しさ。

ムード・インディゴ・シリーズ
MOOD INDIGO SERIES

ジッポーを象徴するデザイン柄と、自然のモチーフが彫刻されたシリーズ。ムード・インディゴのコーティングが、ジッポーの歴史と自然の造形物にさらなる美しさを添える。









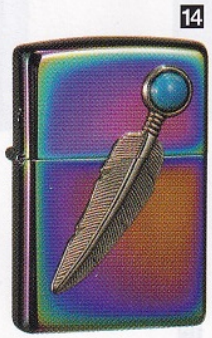
①No.20328 ガール
②No.20328 メッセージ
③No.20328 ニューヨーク
④No.20328 マップ
⑤No.20328 ローズ
⑥No.20328 リーブス
⑦No.20328 フローラル
⑧No.20328 ペネチアン
※各モデルとも5,200円

きらめくボディに、インディアンの誇りを宿したモデル。

インディアン・フェザー
INDIAN FEATHER

独特の輝きを放つスペクトラムに、インディアン・フェザーのメタルを貼りつけたジッポー。自然とともに生きるインディアンの誇りは、苛酷な自然状況にも耐えうるジッポーにこそふさわしい。

⑭No.151インディアン・フェザー／7,300円





1941レプリカ・ジッポーをベースに流れるようなレインボー・カラーをチタン・コーティングで表現。

No.1941 TC レインボー
1941 REPLICA TC RAINBOW

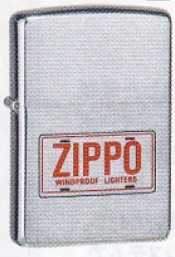


⑮No.1941 TCレインボー／7,000円

多彩なジッポー・ロゴが愉しめる、王道の逸品。

No. 200NPシリーズ
No. 200 NP SERIES

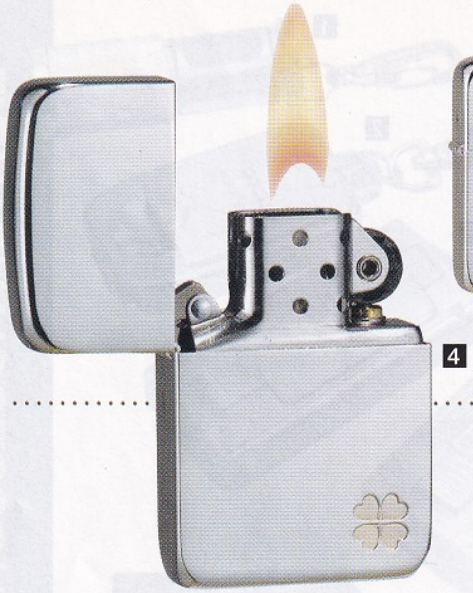
#200モデルに、さまざまなジッポー・ロゴが入ったプレートを描いたモデル。ジッポーらしさがよく出ており、歳月を経ても色褪せない魅力に充ちている。





⑨No.200NP-C
⑩No.200NP-D
⑪No.200NP-E
⑫No.200NP-F
⑬No.200NP-G
※各モデルとも4,200円

本ページの①～⑮までのお問い合わせは、伊藤商事(株) TEL03-3562-5811まで。





①41S-CRS クロス
②41S-CRN クラウン
③41S-STR スター
④41S-CLV クローバー
※各モデルとも7,500円

ジッポーにこそ、色褪せることのないシンプルな輝きが似合う。

ワンポイント・シリーズ
ONE POINT SERIES

1941レプリカをベースに、ベーシックなワンポイント加工で上品に仕上げたアクセサリー感覚のモデル。シルバー・ポリッシュ&エッチング&ゴールド・メッキ加工。

女性のアクセサリーとして人気の高いデザイン・モデル。



シルバー・トライバル・シリーズ
SILVER TRIBAL SERIES

種族や部族を意味する「トライバル」。シンプルなデザインが、タトゥーとしても注目を集めている。女性へのプレゼントとしても喜ばれるモデルだ。



⑤2SB-TR1
⑥2SB-TR2
⑦2SB-TR3
※各モデルとも7,000円

アウトドアだけではない。
おしゃれなシーンにもジッポー。

ジー・ライン・シリーズ
G-LINE SERIES

ベーシックなデザインだが、高級感のあるゴールド・ラインのコンビネーションが持つ人の個性をさりげなく主張してくれる。

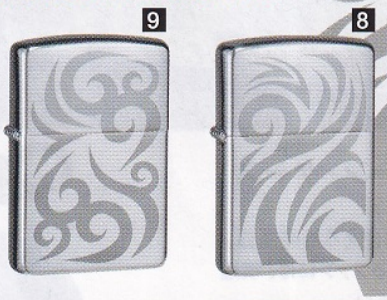
⑪2S-GL1
⑫2S-GL2
⑬2S-GL3
※各モデルとも6,500円





シルバー・サテーナ・トライバル・シリーズ
SILVER SATIN TRIBAL SERIES





⑧2SS-TR1
⑨2SS-TR2
⑩2SS-TR3
※各モデルとも6,000円

アーマー・モデルの存在感と、カスタムラインの美しさをその手に。

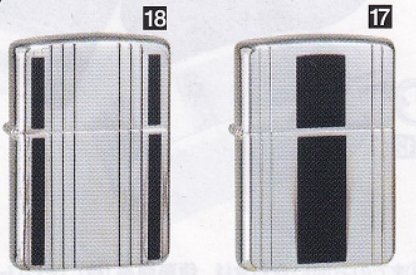
アーマー・カスタムライン・シリーズ
ARMOR CUSTOM LINE SERIES

彫り込み部分にエポキシ樹脂を流して一つひとつを磨きあげた、「匠の技」ともいうべき仕上がり。光沢感、色の深み、美しさはこのモデルでしか出せない。









スリー・ラインズ
エポキシ研ぎだし・3面連続加工
⑭62S-3EPBK／15,000円
⑮62S-3EPRB／15,000円
⑯62S-3EPBL／15,000円

エポキシ研ぎだし&Vカットライン
⑰62S-1LBK／12,000円
⑱62S-2LBK／12,000円

天然貝貼り込み&Vカットライン
⑲62S-S1L／15,000円
⑳62S-S2L／15,000円

※本ページの①～⑳までのお問い合わせは、マルカイコーポレーション(株) TEL06-6443-0072まで。

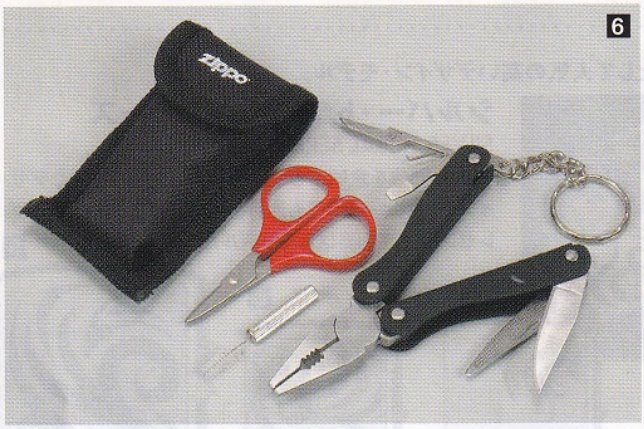
携帯灰皿
PORTABLE ASHTRAY

キャンプなどのイベントはもちろん、ふだんからぜひ使ってもらいたいアイテム。携帯に便利なキーホルダー付き。

①No.HA-20／2,000円
②No.PA-27／1,000円
③No.HA-15H／1,500円
④No.HA-15C／1,500円
⑤No.PA-5／500円
（プリスターパック付）







メンテナンス・キット
MAINTENANCE KIT

ペンチ、ハサミなどがセットになっているので、万一のときの簡単な修理に重宝するキット。

⑥No.ZMKメンテナンス・キット／3,000円





ハンディ・クリーン・ケース
HANDY CLEAN CASE

キーホルダーとしても使える携帯灰皿。自然とジッポーを愛するファンには、喫煙マナーを守ってもらいたい。

⑧ZHC-MOUSE／3,000円
⑨ZHC-CVS2／950円
⑩ZHC-1000S／1,000円
⑪ZHC-1000BK／1,000円
⑫ZHC-1000W／1,000円





オイル・ステーション
OIL STATION

アンティークなスタイルのオイル注入器は、インテリアとしても使える存在感がある。本体カラーはレッド。

⑦OS-R／19,800円

※本ページの①～⑧までのお問い合わせは、伊藤商事（株）TEL03-3562-5811まで。
※本ページの⑦～⑫までのお問い合わせは、マルカイコーポレーション（株）TEL06-6443-0072まで。

It's a Zippo Story.

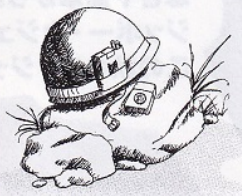
ジッポー・ストーリー傑作選②

ジッポーはその歴史のなかで、数多くの伝説をいまに残している。それらの逸話はどれもが、ジッポーの強靭さとタフネスさを証明していた。創業者ブレイズデルが掲げた哲学「It Works!」は、これからも受け継がれていく。

懐かしき、ベトナム戦争時代の相棒。

ある日、ハリーに電話がかかってきた。電話口の男は「もしあなたがハリー・マクナイトであるなら、一九六七年から六八年にかけて、第一〇一空挺師団の一員としてベトナムにいましたか」と尋ねてきた。ハリーがいたと答えると、彼は空挺師団の医師として、朝鮮戦争に参加していたと自己紹介をはじめた。そして、「インターネットのオークション・サイトでベトナム戦争時代のジッポー・ライターを見つけたのだが、そのライターの片面にはあなたと第一〇一空挺師団の名前が、もう片面には"Viet Nam 67-68"と刻まれていたんです」と告げてきた。そう、それはまさに、ハリーが当時持っていたジッポー・ライターだったのだ。

（H.M.／アラスカ在住）

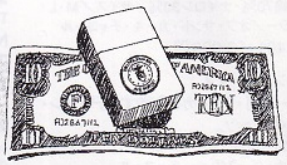


新しく手に入れた、古いジッポー。

コペンハーゲンで開催されたスワップミート。各ブースに並べられたライターを見ていた彼の目に、ひとつのジッポーが飛び込んできた。かなり古い代物だったが、どう見ても、彼にはふつうのジッポーだとは思えなかった。しかも、手入れが行き届いていて、とてもきれいだった。彼は、ひと目惚れのこのジッポーを買うために早速交渉。ボトムにローマ数字の刻印がなかったので、十ドルで購入することができた。

その後、アメリカ空軍の記章が入ったそのジッポーは一九三七年のものであることが、ジッポーのホームページでわかる。彼は大喜びだった。「ジッポー社と同じくらいの古いライターですが、もちろんいまでも使えます」。

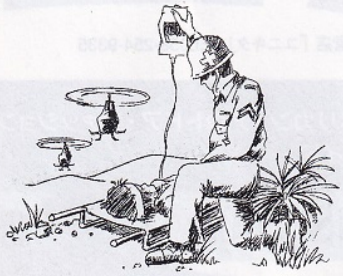
（S.L.／デンマーク在住）



持ち主とともに、戦火をのがれて。

一九六四年、新兵訓練を終えた記念に、男はUSMCのエンブレムがついたジッポー・ライターをPX基地で買った。一九六五年、負傷によってベトナムから引き揚げてきた彼の持ち物は、いつもズボンのポケットに入れていたこのジッポーをのぞいてすべてなくなっていた。

休暇中に実家に帰ったとき、父親が「このジッポー・ライターは、これを持っていた海兵隊員と同じように、いくらかの修理が必要だ」というメモを同封して、ジッポー社に送った。彼は知らないうちに送られていたこのジッポーの在処をふたたび突きとめると、ジッポー社のホームページで同じようなジッポー・ライターがたくさんあることを知った。（D.I.／オランダ在住）



ジッポーが教えてくれる、仲間のすばらしさ。

彼は、一九八三年から八四年にかけて、第一〇一空挺師団とともに、フォート・キャンベルやケンタッキーに配置されたE-4部隊に配属していた。

一九八四年の夏、彼が所属する部隊は多国籍軍と特別偵察部隊と同行し、シナイへむかう命令を受けた。この任務のためには、数か月の準備が必要だった。しかし、そのすぐあと、彼は別行動でドイツのベルリン部隊へ行くように命じられた。彼の壮行会パーティーが開かれ、非常に仲のよかったS-3部隊の面々からジッポー・ライターがプレゼントされた。

その秋、ジッポーと彼はベルリンにむけて出発。彼は任務を完了して、クリスマスにはアメリカに帰還する予定だった。

一九八五年十二月十二日、スター&ストライプ紙のニュースを読んで、彼は驚愕した。S-3部隊を含む大隊が乗っていたDC-8機がニューファンドランドで離陸直後に墜落し、乗っていた二五八人すべてが死んでしまったのだ。ショックと深い悲しみのなかで、彼はみんなからもらったジッポー・ライターがいかに大切な記念になってしまったのかを悟る。それは、単にみんなから贈られたというのではなく、彼の知るかぎり、彼の部隊で唯一つくったものだったのだ。第一〇一空挺師団の鷲と「SP4 Porter, From S-3, 3/502 INF」とだけ刻まれたシンプルなもの。「一九八四年に亡くなったみんなからの贈り物はほかにもあるが、私の書斎でも特別な場所に飾られているジッポー・ライターはちがう。これは、彼らのすばらしさを私に毎日教えてくれるものなんだ」。（J.P.／イリノイ州在住）



次代へと受け継がれる名品。

彼が第二二機甲部隊の伍長だったころ、彼の部隊はある新しいシステムでの訓練をすることになった。その訓練所で、彼らは屈強な軍曹に出会う。厳しく、タフな軍曹のもとで、幾度となく言い争いを繰り返しながらも、彼らは十日間の訓練に耐えた。ある日、口論をしたとき、軍曹が彼の手を引き、そして言った。「オニール、きみは、私のかつての上司であった軍曹長に似ている。軍曹長は自分が所属していた部隊紋章が入ったジッポー・ライターを私にくれた。そしてこう言った。きみがこのジッポーを持っていてくれることは、いままで手にしてきたどんな勲章やお金よりも意味がある」と。そう言うと軍曹は、何年も大切にしてきたそのジッポーを彼に手渡した。それは、第十山岳部隊の紋章が入った銀製のジッポーだった。「私はそれから部隊を退役したが、そのジッポー・ライターをいまだに持っている。そしてそれは、あなたに最も厳しい人が、あなたに最も多くのことを残してくれるということを教えてくれる」。（K.O.／テキサス州在住）



CASUAL WEARS

①コーデュロイ裏チェック・ブルゾン
コーデュロイにアクリル・チェックを組み合わせたブルゾン。製品洗いによるアタリ感が、よい雰囲気を出している。
素材／綿100%　サイズ／M・L・LL　カラー／オフ・ベージュ・カーキ
No.18407／4,900円

②ダイナライブ裏トリコット・パーカー
蓄熱保温機能のある素材（ダイナライブ）を使用。脇と前立ての切り替えがポイント。裏地はトリコット。
素材／ポリエステル100%　サイズ／M・L・LL
カラー／オフ・レッド・チャコール
No.18422／3,900円

③コーデュロイ裏チェック・ベスト
腰にある大きなポケットが使いやすくて便利。裏地もアクリル・チェック仕様で暖かく、おしゃれなベスト。
素材／綿100%　サイズ／M・L・LL　カラー／オフ・ベージュ・カーキ
No.18400／2,900円

④コットンナイロン裏チェック・ベスト
機能的なポケットが多くついた、軽く暖かいベスト。製品洗いによるアタリ感がハードに出た一着。
素材／綿70%・ナイロン30%　サイズ／M・L・LL　カラー／オフ・サンド・カーキ・チャコール
No.18401／3,900円

⑤プリントTシャツ
ジッポーの国・アメリカを象徴するデザイン・プリントTシャツ。
素材／綿100%　サイズ／M・L・LL　カラー／オフ・モカ・ダークグレー・チャコール
No.28405／1,900円











⑥アップリケ・トレーナー
ウォッシング・デニムのアップリケ・デザインのTシャツ。
素材／綿100%　サイズ／M・L・LL　カラー／TOPグレー・モカ・ブラウン・チャコール
No.28409／2,900円

⑦チェック・シャツ・アンサンブル
着こなしを提案する、プリントTシャツとチェック・シャツのコーディネイト・アイテム。
素材／綿100%　サイズ／M・L・LL　カラー／レッド×レッド・ネイビー×ネイビー・レッド×ダークグレー・ネイビー×チャコール
No.28432／2,900円





寒さや衝撃から身を守る
ジッポー・カジュアル・ウェア。
この秋冬は、ジッポーのロゴ・アイテムで決める。

問 (株)キタガワ　TEL058-251-2600　直営店「ユニキタ」TEL058-254-9335

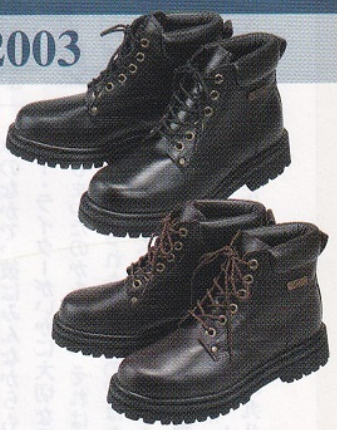


ZIPPO
ジッポー・アメリカン・アウトドア・ファッションズ
秋冬新製品ガイド

OUTDOOR FASHIONS 2003









SOCKS



無地リブ編みソックス
素材／綿・アクリル・ポリエステル・ポリウレタン
カラー／ホワイト・グレー杢・ブルー杢
ZIPPOロゴ刺繍入り
※参考商品

問 福助(株)　TEL072-223-2157

SHOES

機能性を高めるとともに、その美しさをも極める。
足元にも、ジッポー哲学は確かに
受け継がれている。



①ワークブーツ
重厚で安定感があり、履きこむほどになじむ一足。
グッドイヤー・ウェルト製法　カラー／ブラック・ダークブラウン・Nイエロー
No.5725／7,800円



②スポーツ・カジュアル
2本のステッチラインをアクセントにした、レース・アップのスニーカー・タイプ。
ステッチダウン製法カラー／ブラック・タン
No.2488／7,800円

③タウン・カジュアル
モカをアレンジしたステッチと踵とのコンビ使いが新鮮なサイド・ゴアのスリッポン。
ステッチダウン製法　カラー／ブラック・コーヒー
No.2470／7,800円

問 東邦レマック(株)　TEL03-3834-4262

CAPS & GLOVES



①イーグル前立て付きキャップ
素材／ポリエステルスエード
カラー／ブラック・ブラウン・ベージュ
03ZP10001／1,900円

②平天ミックスオスロー
素材／アクリル
カラー／ブラック・ネイビー・ブラウン
03ZP10010／1,900円

③前立て付きシコロキャップ
素材／ポリエステル混
カラー／ブラック・カーキ・チャコール
03ZP10014／1,900円



さまざまな表情を見せるジッポー・ロゴが魅力。
コレクション魂を刺激する充実のラインナップ。

④イーグル刺繍ワッチ
素材／アクリル　カラー／ブラック・カーキ・ブラウン
03ZP10007／1,900円

⑤ミックスワッチ
素材／アクリル　カラー／グレー系・ブラウン系・カーキ系
03ZP10005／1,900円

⑥平天ベルト付きサファリ
素材／ヒッコリー起毛　カラー／チャコール・ネイビー
03ZP10012／1,900円

⑦536ZP42
指切り手袋フード付き。フリースを使っているので暖かい。
1,500円
カラー／ブラック・こげ茶

⑧23ZP01
ボリューム感のある鹿の子編み。二重編みなので保温性が高い。
1,500円
カラー／チャコール・グレー・こげ茶・カーキ

問 ヨークス(株)　TEL03-5825-0772

使いこむほどに、その風合いを増していく。
その強靭性と耐久性の高さは、ジッポーそのもの。



LEATHER GOODS

①ライターケース
素材／牛革　カラー／ブラック・ブラウン
ZP-71／2,000円

②ライターケース
素材／牛革
カラー／ブラック・ブラウン
ZP-72／2,200円

③ライターケース
素材／牛革
カラー／ブラック・茶
ZP-60／2,000円

④札入れ
素材／牛革
カラー／ブラック・茶
ZP-345／7,000円

⑤二つ折り札入れ
素材／牛革　カラー／ブラック・茶
ZP-164／5,000円

⑥小銭入れ
素材／牛革　カラー／ブラック・茶
ZP-341／3,800円

⑦小銭入れ
素材／牛革
カラー／ブラック・茶
ZP-166／3,500円

問 ヨシナガ(株)　TEL03-3864-3834

カジュアルにも、フォーマルにも似合う。
普遍のデザイン性が、ジッポー・マンの心を揺さぶる。

BELTS

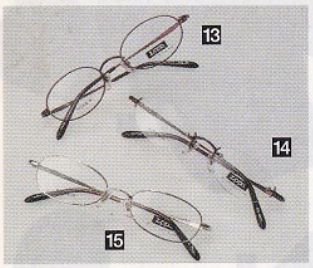


①布製ベルト
No.1581／800円
カラー／ブラック・紺・モスグリーン・ベージュ

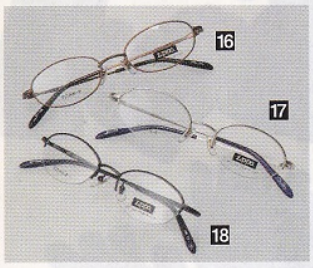
②合成皮革ベルト
ZP-1502／1,500円
ZP-1901／1,900円
カラー／ブラック・チョコ

問 (株)ファンス
TEL072-243-1100

気分やファッションにあわせて選べる、ジッポーならではのアイウェア・コレクション。















SUNGLASSES & FRAMES

●サングラス
①ZP-215-2／2,500円
②ZP-211-1／2,500円
③ZP-213-2／2,500円
④ZP-305-1／3,900円
⑤ZP-301-1／3,900円
⑥ZP-214-2／2,500円
⑦ZP-304-2／3,900円
⑧ZP-306-2／3,900円
⑨ZP-300-1／3,900円
⑩ZP-216-1／2,500円
⑪ZP-212-1／2,500円
⑫ZP-307-1／3,900円

●メガネフレーム
⑬ZP-130／オープン価格
⑭ZP-135／オープン価格
⑮ZP-131／オープン価格
⑯ZP-132／オープン価格
⑰ZP-133／オープン価格
⑱ZP-134／オープン価格

問 (株)サンリーブ　TEL0778-52-1330



深みのある時間を、ジッポーとともに過ごす。それが、人生の歓びであることを知る。







WATCHES

①タイム・ライト
TL-1／10,000円

②タイム・フラッシュ
TF-1／10,000円

③アーミー・ウォッチ
AZ-11／10,000円

④メカニカルウォッチ
AUT-1／12,000円

⑤タイム・ポケット
1/10クロノグラフ懐中時計・専用ケース入り
TPC-1／10,000円

⑥エアフォース・ウォッチ
1/10クロノグラフ・カレンダー付き・専用ケース入り
DWZ-1／15,000円

⑦タイム・コンパス
TC-1／10,000円

⑧タイム・コンパス
TC-6／12,800円
（方位計・温度計付き）

問 (株)ヒューマンフレーム　TEL03-3870-3111

炎を知り尽くしたジッポーだからこそ生みだせた高性能な「It Works!」。













OUTDOOR GEARS

①メッシュ・ランタン
ステンレス・メッシュを装備したモデル。雨や風によるマントルへのダメージを極力軽減。
7,500円

②Zero-i ランタン
大型ランタン・クラスの約1/3の燃料で、160Wの大光量を実現。
7,500円

③WPS-Sガス・ストーブ
驚異の安定性を誇る、WPSをさらに進化させたセパレート・ストーブ。
10,500円／最大出力4,200kcal

④ALストーブ
85gの超軽量コンパクト・ストーブ。2,900kcalの最大出力。
6,800円

⑤チタンケトルTK-500
専用ポーチ付き／4,500円
〈チタンケトルTK-500セット／9,000円〉
チタンケトルTK-500（1個）、ポケット・ストーブ1台、110gカートリッジ（1本）、専用ポーチ付き

⑥キャンピング・グリル
強力な火力と耐久性を兼ね備えた、ジッポーが生んだ世界最強のグリル。
グリルのみ／35,000円
バッグ付き／40,000円

⑦カークス
メタルマッチ・ナイフ・ハサミ・ヤスリがひとつになったアウトドア・ツール。
1,500円

⑧MMスコープ
縮めれば30倍の顕微鏡として、伸ばせば8倍の望遠鏡として使える単眼鏡。
1,500円

問 興栄工業（株）　TEL03-3800-5720

ジッポー物語

創業者ブレイズデルと生涯保証の軌跡を徹底検証

第4章 ジッポー・スタイル完成



「新型」の特大ジッポーを手にする創業者。



最初のオフィスを構えたエルム通り



現・本社ビルの向かい側に移転した当時の本社工場。

ラウンド・コーナー誕生

全米向け雑誌広告を掲載した翌一九三八年、ジッポー社はさらなる製造能力の向上をめざし、本社工場を移転した。旧工場にほど近いバーボア通り三六番地に完成した社屋は、通りに面してオフィス、奥には製造ラインが配置された「初のオフィス兼工場」だったが、まだまだ完全な自社加工設備は擁してなかった。ライター・ケース加工はスメスポートのバッカス・ノベルティ社、メッキ加工はオリーンのブッシュ・ブラザーズ社が担当。「一日中、オリーンまでトラックで往復していた。それは自社でメッキ加工ができるようになる五〇年代までつづいた」と元・広告部員ルディ・ビッケルが語っている。

この新工場で特筆すべきは、その開設年に従来のスクエア型モデルに改良を加え、「ラウンド・コーナー型モデル」を製作したことだ。ジッポー・オリジナルの発表以来、細かな改良が加えられているが、今回の新製品は技術的にも画期的なものだった。これは一体成型加工できるプレス機械の導入により可能になったもので、結果として角に丸みをもたせることになった。このときケースにヘアラインを施す「ブラッシュ・フィニッシュ加工」もはじめて行なわれている。

この「プレス・タイプ」とも呼ばれるモデルは、ジッポー独特の曲線をもったスタイルになり、一九四〇年までにはケース製造工法もすすみ、現在とほぼ同様のものが形成される。創業者ブレイズデルには特大のジッポーをかかえた写真があるが、まさに新オフィス前で新型モデルを誇示している場面である。

当時のデザイン界の主流は、アール・デコの幾何学模様から流線型に移行しつつあった。有名なヘンリー・ドライフェスは、この一九三八年に丸みのある流線型の蒸気機関車を発表。レイモンド・ローウィも曲線的な冷蔵庫、掃除機、ラジオなどをデザイン。量産を視野に入れた「マシン・エイジ」の技術は、インダストリアル・デザインを変えはじめた。その意味で一体成型できる機械の導入による「ラウンド・コーナー」は、図らずも時代の一端を象徴している。

この一九三八年はライター・デザインも従来のダイアゴナル・ライン入りのほかに、細い縦線入りのエンジンタン柄が加わっている。ベル・コーガン独特のアール・デコ風デザイン「Kシリーズ」も発表され、初期のエッチング加工だがボディを魅力的に飾ったモデルも登場している。ライター・ケース表面の機械彫刻は一九三九年に開始し、インレー（象眼）技術も導入している。これらの技術は、四〇年代まで維持しつづけ、初期の「スポーツ・シリーズ」は、第二次大戦後まで多彩なスポーツ・シーンが製作されている。

セールスマンによる代理販売

新ラインナップを擁した同一九三八年には、引きつづき全米広告第二弾も展開。同様の



スポーツ柄モデルも…。再現された在りし日の社長室デスクより。

「エスクワイア」誌を使い、落下傘で空を舞う「第二のミス・ウィンディ」も登場させた。「第三のミス・ウィンディ」は二年後の一九四〇年、同誌の広告に登場した「スケート・リンクで滑って転んで着火する」キャラクターである。このスケーターには美しく滑走する別タイプもある。それぞれ作家も変え、ジッポーの魅力をアピールしたが、ジッポーの知名度を大きく上げるものにはならなかった。ひとつ州を離れたら知る人はすくない、という実態は変わらなかった。

これを教訓としたブレイズデルは、販売ルートの拡大をめざした。葉巻を本業とする二名のセールスマンによる代理販売も開始した。ひとりは一回のセールス・ツアーでデンバー、ピッツバーグ、スーセントメリー、アーカンソーを担当。もうひとりはリッチモンド、キーウェスト、エルパソ、テキサスと広大なエリアを担当。微力ではあったが、全米のタバコ卸売業者を相手に巡回セールスした。これは一九三九年から一九五〇年までつづけられている。

その名が徐々に浸透するにつれ、地元メーカーもポケット・ライター市場に参入してきた。そのひとつにジッポーと同様に防風ガードをそなえた「ヘリオス」があった。メカには自信を持っていたブレイズデルは同一九三九年、それと強さくらべをしている。相手は、地元機械メーカー経営者のブバード。ところは、ペンヒルズ・クラブのバー・カウンター。二人が「どちらのライターが頑丈か」を議論していたときのことだった。これを元・支配人ジム・モンテカルボが目撃している。競い方は単純なもので、一定の高さから投げ落としてみることだった。そのときヘリオスは、ヒンジが壊れて外れた。ジッポーは八〇センチの高さからでも無傷だった、とか。

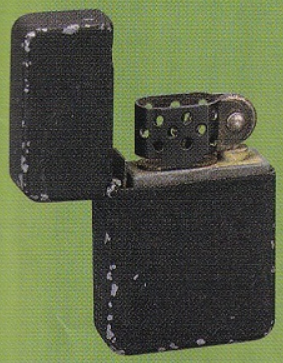


エスクワイア誌に登場した女性キャラクター。





当時の「スモーキング・レイディ」を中心にした広告展示。ビジターズ・センターより。



いわゆるジッポー型ライター。ブラドフォード製ライターは、右。



「600回以上試したが、着火に失敗はない」とフィリップ・オーバー。創業期の「タレント」広告。

テーブル・ライター開発

ライターが軌道に乗りはじめる一方で、ブレイズデルは第二の製品テーブル・ライターの研究もすすめていた。より特別な機会に使えるライターづくりが当初の目的で、デザイン、サイズ、装飾が異なるモデルの試作を重ねている。「いかなるコーヒー・テーブルやデスクも美しく演出できる、エレガントな作品をめざす」。この製作コンセプトが明確になったのは、一九三七年から一九三八年ごろで、ブレイズデルのプライベート・コレクションに一九三八年試作のテーブル・ライターがいくつか残されているという。開発時期をしめすものとしては、「いまは購入できない」の文字がスタンプ押しされた一九三八年作成のリーフレットもつたえられている。

当時のテーブル・ライターの開発競争は、熾烈を極めていた。ロンソン、エバンス、クラークなどのメーカーは、アール・デコの流行を背景にした装飾的な製品づくりをすすめていた。それにブレイズデルは直接影響を受けることはなく、シンプルに「It Works」の思想



初期のテーブル・ライター。背が高いモデルが第1号。

を貫き、性能重視の製品の完成を待った。

そのテーブル・ライターの発売は、一九三九年の「#10テーブル・ライター」。高さが二・五センチもある「墓石型」テーブル・ライターで、内部機構も大きく、燃料容量もレギュラー・モデルの四倍以上あった。台座は二層。キャップと本体は、レギュラー・ヒンジ二個で一体化。価格は七ドル五〇セント、モノグラム付きは八ドル五〇セント、スポーツや団体のモチーフを付けた場合は八ドル二五セントとなっていた。これは一九四一年まで数量限定で製造されたが、以降は戦争突入による素材規制も受け、その年内には製造休止となっている。同年一〇月一七日付のブレイズデルのセールス・レターには、ポケット・ライターの値上げとともに、その旨をつたえている。

数ある当時のテーブル・ライターの価格帯は一〇ドル前後が中心で、ブレイズデルはそれより価格を低く抑えて提供していた。一〇ドルといっても当時は高級なもので、一九三九年前後のアメリカの物価データには、ブロード・シャツ二ドル五〇セント、シルク・ボウタイ二ドル五〇セント、ジョンソン&マーフィの靴二ドル五〇セント、ウッドサイドのスーツ三五ドルとある。シャツ四枚、ボウタイ四種やテーブル・ライター一個がほぼ同価値になっていたことがわかる。



談笑する創業者と従業員。50年代。

ブレイズデルの後継者教育

この一九三九年に勃発した第二次世界大戦を背景に、アメリカ経済は不況を完全に抜け出していた。三人の従業員でスタートしたジッポー社は四〇年代に入り、約二五名の従業員を擁していた。すでにブレイズデルひとりでコントロールできる規模を超えていた。入社してくるものは、まずライターの構造を直接扱う修理部に配属し、メカニズムを学ばせていた。その後は異なるセクションを経験させ、最終的には全工程をマスターすることを目標としていた。

もちろん、ライターの組み立ては自動機械もなく手作業。いつでもブレイズデルは工場を巡回し、ライターを手に取り、チェックしていた。各部門の誰にでも話しかけ、どんな意見にも耳を傾けた。とりわけ修理部では、「修理されたライターがきちんと機能しているか」に特段の心配り。修理済みモデルのインサイド・ユニットを出し入れし、これはきつすぎても、緩すぎてもいけないと指示。トローンボーンのスライドに近い、なめらかな動きを求めた。「トロンボーン・フィット」と呼ばれるものである。

また、ブレイズデルはジッポー社の将来のために後継者としての娘たちの教育も怠らなかった。学校の夏休みには、ハリエット（前・共同オーナー）とサラ（現・共同オーナー）の二人の娘を製造ラインでインサイド・ユニットにウイックを装填するなどの組立作業に就かせている。二人は不慣れなため作業が遅く、ほかの従業員はどんどん仕上げてゆくなかで歯がゆい思いもしている。左利きだったサラは、さらに遅かった。こんな家族を動員してのライターづくりは、作業が多忙になっていたことも一面ではしめしている。

そんなとき、ある男が娘たちの仕事ぶりを見ていた。娘たちが製造部のチーフが監督をしていたと思い違いしていた男は、労働監督署の検査官だった。翌朝、ブレイズデルを呼び付け、「工場で働かせるには若すぎる」と忠告し、ひとり一六〇ドルの罰金を言いわたした。それに怒ったブレイズデルは「そんな金があったら、二人ともニューヨークに二週間行かせられる」と検査官の要求を一蹴。命令に従わないことで最悪の事態も想定したブレイズデルは、断固として言い返した。「私には、この二人の娘しか子どもはいない。この娘たちが工場を引き継ぐかもしれないから、ライター製造の実際を教育したかった。工場経営者が自分の子どもに製造のことを教えて、なぜ悪い。私をブラドフォードから剥そうとするなら、保安官がきて強制連行するしかない」。

こうして娘たちをジッポー社に出入りさせ、ニューヨークへ秘書の勉強に出し、ブラドフォードに戻ってからもライター製造の現場体験を通し、発展する会社の後継者育成を行なっていた。「下から、はじめなさい」。これは人を選ばずブレイズデルが指導するときの常套句だった。

人気爆発の兆し

そんな四〇年代初期のエピソード。ペンヒルズ・カントリー・クラブのジム・モンテカルボがメリーランドの軍のキャンプに出向いたとき、ジッポーの購入希望者がいるという話を聞きつけた。すぐにリストを作成し、ブレイズデルに申し込んだ。三週間後、それぞれの名入りのライターをモンテカルボに手わたし、「ライターを売ってくれたのだから、手数料を払う」。このときモンテカルボは、ジッポーをキャンプで二五〇個販売し、仲介料八ドルを手にした。当時の給料は二ドルであり、大いに喜んだ。そして、その労をねぎらいながらブレイズデルは「こんなチャンスがあったら教えてほしい」と逆に頼み込んでいる。こうしたキャンプでの人気の高まりがGI人気爆発につながったのだが、このときその予感があったかどうかは定かでない。

（文／かとう ともゆき）

創業時代は「GEO.G.BLAISDELL」の名がズラリ。ペンヒルズ・クラブの歴代チャンピオン・パネル。



ジッポー、その形で商標登録

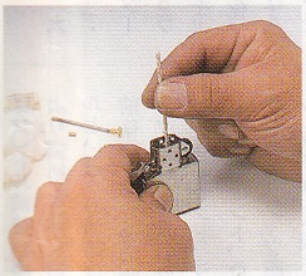
ジッポー社が今年、ジッポー・ライターの形状に関する商標登録に成功した。九四年に米特許商標庁に申請してから約十年。商品名称などとちがい、一目で偽物を判別することがむずかしいとされており、特許先進国のアメリカでも商品の形を商標登録できた例は数少ない。

しかし四角形のボディに、丸みを帯びたフタという形状の独自性が商標として認められたのである。ジッポー社では、韓国や中国、ベトナムでつくられるコピー商品によって売上高が約三十%落ち込むという試算も出している。年々、巧妙さが増すニセモノによって愛好家たちにも迷惑がかかっている。一日でも早く、これらが一掃されることを期待したい。


形で商標登録
ジッポ

ジッポー修理を取り上げた番組がテーマ賞を受賞

愛知県一宮市と尾西市、木曽川町を放送エリアとするケーブルテレビ「アイ・シー・シー」が制作した、ジッポー・サービスを取り上げた番組が日本ケーブルテレビ大賞番組コンクールでテーマ賞を受賞した。内容は、二十数年前からジッポー・ライターの修理に取り組み、五、六年前までは日本で唯一の修理人だった遠島栄利氏の仕事ぶりを紹介した十五分番組。放送後は「身近にすばらしい修理人がいることは街の誇りだ」などの反響が多く寄せられた。


実際の修理の1コマ。
（番組映像ではありません）

「エックスメン2」に特注ジッポーが出演

アメリカン・コミックが映画化されて大人気を博した「X-Men」の第二弾が今年公開され、特注ジッポーが出演を果たした。

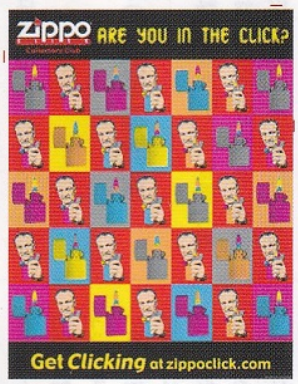
エックスメンのひとりであるパイロは、突然変異によって炎を自在に操る能力を身につける。この映画のためにつくられたジッポーを一発着火し、その炎を使って敵を倒していく。個性的なキャラクターがひしめくこの映画のなかでも、パイロはジッポーの炎のようにひときわ輝いている。ジッポーはサテンクロム合金仕上げで、その三面にはサメのあごが描かれている。



アンディ・ウォーホール×ジッポー・クリック

コレクターズ・クラブ「ジッポー・クリック」が、景品やショップ・ディスプレイ、イベント用にポスターを制作した。そのデザインは、六十年代から七十年代にかけて活躍したアメリカの画家、アンディ・ウォーホールのスタイルを反映したものになっており、マリリン・モンローやエルビス・プレスリー、キャンベルのスープ缶などのポスターはあまりにも有名である。

今後、これらのグッズはツアー・イベントに使われたり、クリック・コンテストの受賞者にも贈られる予定になっている。



コレクター登場

コレクターとの出逢いを楽しみに。


野田 義明氏

ウィンディーをはじめとした女性柄、企業やショップのオリジナル物を中心に集めていますが、現在はタバコ柄に力を入れています。とくにマルボロは充実させたいと思っています。

コレクションしていて楽しいのは、コレクターの方たちとの交流です。そういった点で、今度の大阪スワップミートは楽しみ！　いま、携帯（i-モード）でアクセスできるホームページを持っていますが、そこでも多くの仲間ができました。そのサイトで作ったオリジナル・ジッポーはいちばんのお気に入りです。みんなで力を合わせて作りあげたオリジナルは、わたしの自慢の一品です。

（お便りは、尼崎市東難波四―一四―三　ジュネス船原二〇六）

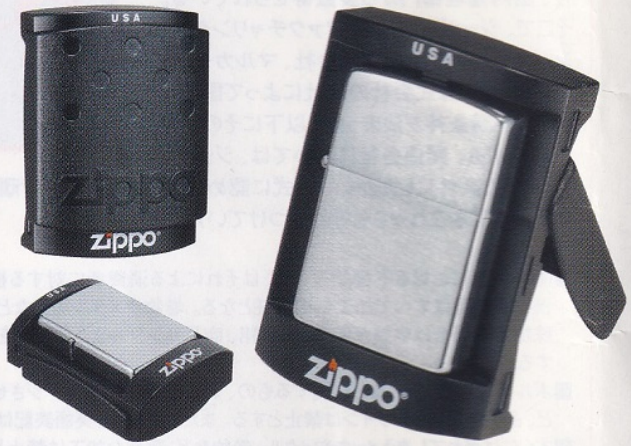

オリジナル・ジッポー



ブラック・ボックスが初の大リニューアル

ジッポーが収められているブラック・ボックスが、約三十年ぶりにリニューアルされる。これまでのものより大きくなり、全体に防風ガードのデザインが施されている。ボックス内にはレギュラー・サイズ、スリム・サイズのどちらも収納できるようになった。構造上の変更はフタをはずすことができるようになっており、それをケースの裏に取りつけて置いたり、ケース下部にはめてディスプレイ用として立てることもできる。

現在の四角形のブラック・ボックスは七十年代後半に発表された。今夏から、この新しいブラック・ボックスを店頭で見ることができるので、ジッポー・ファンはぜひ注目していただきたい。



ニセモノ注意報②

ボトム刻印に要注意！

これらのジッポー型ライター。一見ジッポー・ライターにも見えるが、そのボトムに注目してもらいたい。Zippoの口ゴが本物とは大きく異なることはもちろん、製造年コードやBRADFORD,PA. MADE IN U.S.Aもしっかり刻印されておらず、初心者の方にもニセモノだとすぐにわかるだろう。また、表面加工のエッチングの美しさも本物とはくらべようがないほど劣悪な仕上がりになっており、写真のトヨタやホンダの口ゴもひと目でニセモノであることがわかる。現物を見ることができないインターネット・ショッピングなどでは、まずはボトム刻印に注目してもらいたい。



イベント・ガイド

「大阪スワップミート歓迎ジッポー・フェア」
●九月十日(水)～九月二十八日(日)
●ジッポー専門店ナカムラ
●主催／ナカムラ
くわしくは、
www.zipponakamura.com

「ジッポー秋まつり」
●九月六日(土)～十月五日(日)
●ジッポーワールド・ナカムラ
●主催／ジッポーワールド・ナカムラ
くわしくは、
www.warp.ac/zippoworld

「第七回有花里ジッポー・アウォーズ・ナゴヤ二〇〇四」
●二〇〇四年二月十五日(日)
●名古屋サミットホテル
●主催／有花里
くわしくは、
www.zippostation.co.jp もしくは
☎〇五二(四五二)四五一

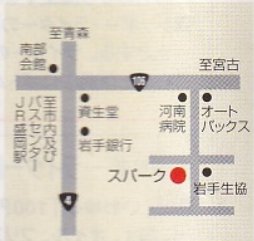
ZIPPO SHOP TOUR

●岩手
ジッポーショップ スパーク
〒020-0816
岩手県盛岡市中野2-2-8
☎019-625-3666
Homepage
http://www.zippo-spark.co.jp
http://www.pipe-spark.com/
http://www.cigar-spark.com/



ジッポーを中心に、喫煙具すべてを販売しています。とくにジッポーには力を入れており、常時5,000種類の在庫をご用意しています。スパークでは、以下のようなコマーシャルをテレビ・ラジオ放送しています。

「ジッポーがたくさんある店知ってる？ 盛岡中野ジッポーショップ・スパーク。な、なんと5,000種類もあるんだ！ ジッポーへのネーム入れも即時可能になったんだ。もちろん、ペットやお子さま、あなたや彼女の写真をジッポーへ即時刻写できるよ。贈り物に最適だね。あなたに、そしてあの人へ。盛岡国道106号河南病院裏のジッポーショップ・スパーク。見にくるだけでも楽しいぞ！」



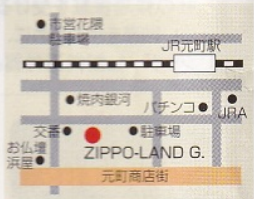
AM10:00～AM0:00（電話対応時間）
定休日／年中無休

●兵庫
ZIPPO-LAND G.
元町店
〒650-0022
兵庫県神戸市中央区元町通3丁目11-11
☎078-331-6799
ハーバーサーカス店
〒650-0044
兵庫県神戸市中央区東川崎町1-3-3
神戸ハーバーサーカスビル3F
☎078-362-8098



今年の7月に、2店目のZIPPO-LAND.G元町店をオープンしました。現行商品の20～30%オフはもちろん、ビンテージを中心に、お客さまのニーズにお応えできる、従来のジッポー・ショップにないお店をめざしています。ぜひ一度お店にお越しいただき、みなさまのご意見をお聞かせください。

ハーバーサーカス店には2,500種類以上のジッポーを取りそろえ、現行商品の20～30%オフ、ビンテージ、アメリカ加工の商品もお求めやすい値段を心がけています。ZIPPO-LAND.Gオリジナル商品なども販売していますので、ぜひ一度遊びにきてください。スタッフ一同、心よりお待ちしています。

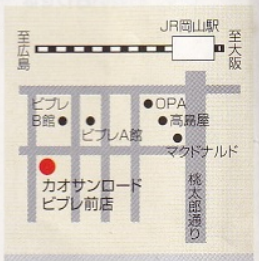


〈元町店〉AM11:00～PM7:00
定休日／月曜日（祝・祭日は営業）
〈ハーバーサーカス店〉
JR「神戸」駅下車、南へ徒歩5分
AM11:00～PM8:00　定休日／第2水曜日

●岡山
カオサンロード ビブレ前店
〒700-0903
岡山県岡山市幸町6-33
幸町旭ビル1F
☎086-231-8234



壁面にならんだ定番、新作、キャラクター物はもちろんのこと、オールド、デッドストック、ベトナム・ジッポー、そして滅多に目にすることのできない限定物のシリアルNo.0001やゾロ目など、いままで雑誌でしか見たことのなかった逸品に巡りあえることも！ そしてファンの多い1932年、1933年のレプリカ、タバコ銘柄やコカコーラのデッドストックと、なかなか市場に出まわらないジッポーにも力を入れています。「こんなのがほしい！」「○○年のを探している！」というお客さまのニーズにも積極的にお応えしています。ラインナップのちがう複数の店舗との連携プレー対応も好評です。ぜひお気軽にお問い合わせください。すてきなジッポー・ライフをお届けします。



AM11:00～PM8:00
定休日／不定休

Zippo AN AMERICAN CLASSIC
ZIPPO HOT NEWS SPECIAL ISSUE
ジッポー・ホットニュース・スペシャル 2003秋冬号 Vol.77

FROM ZIPPO



1938年頃の広告より

ジッポー関係者のみなさまへ



近年、ライター表面の日本国内加工に関する問題点がジッポー本社、愛用者、関係各社、国内修理部門から多数寄せられている。そこで、ジッポー・マニュファクチャリング・カンパニー、伊藤商事株式会社、マルカイコーポレーション株式会社の三社によって国内再加工・申請条件が決まった。以下にその一部を紹介する。関係各社においては、ジッポー社の加工条件にしたがい、正式に認められている「良質で頑丈」な日本加工をこれからも守りつづけていただきたい。

■国内加工における不備問題、またはそれによる消費者に対する損傷・損害の保証はすべて加工者の責任となる。巻物やメタル加工などの特殊加工の場合は申請が承認され次第、商品サンプルまたは写真を提出すること。
■ボルノ、麻薬、暴力などに関するもの、およびそれらをイメージさせるなど、品位を損なうデザインは禁止とする。また、間違った英語表記は不可。
■すぐにはがれてしまうメッキやメタル、巻物など、粗悪な加工は禁止とする。
■ジッポー本社がすでに行なっている加工は禁止とする。金メッキおよび金色メッキをする場合は#204、#207Gなど、インサイド・ユニットが金色のものから加工することなどが一例。
■ジッポー・ライターの形やイメージを変えてしまうほどの過剰な加工は禁止とする。ライターの表面に「ZIPPO」の文字を使用する場合は、現在または過去にボトム・スタンプとして使用されたロゴに限る。

★ジッポー・ライターにはオイル、フリントなど、ジッポー純正付属品を!

最近、いわゆる「100円ショップ」などの店頭でジッポーに類似したライターに加え、オイル、フリント（発火石）、ウィック（替え芯）なども数多く出まわっています。これらはジッポー製品ではなく、品質の違いによりライター故障をもたらす恐れがあります。もちろん、この他社製品に起因するライター故障は、ジッポー社の修理保証を受けることができません。よりよい結果を生むために、「ジッポー・ライターには、ジッポー社製純正付属品」をご利用ください。



ジッポー・サービスからのお願い

ジッポー社では、ライターの機能的な故障に対して、その状態、使用年数を問わず、これを無料で直します。ただし、当社への郵送にかかる費用はお客さまの負担です。ライター表面のキズ、へこみ、変色、メッキ不良、革のはがれ・破れ、摩耗、飾りメタルの取りつけ、および他社製ライターは修理できません。また交換部品、内部ユニットは新品を使用しますので、ご了承ください。



●修理を依頼するまえに

①着火不良は純正発火石、オイルが入っていないことによるものか、まずご確認ください。
②芯は消耗品、販売店で購入ください。装填方法は簡単で、内部の綿をすべて取りだし、芯を入れ、長さは風防ガード上部くらいに合わせます。残りを内部に詰めながら、バランスよく綿を詰めればOK。なお、綿は市販の布団綿、純綿でも代用できます。

●修理品の送付方法

①綿に残っているオイルは必ず抜き取り、完全に蒸発させます。
②郵送にはライター（化粧箱、飾り付属品、オイル缶、ギフトボックスなどは同封しない）をティッシュなどの緩衝材で包み、封筒を二重、三重にしてください。そのときテープを直接ライターに貼りつけないこと。（送付先／下記記載のジッポー・サービス）
③修理品とともに、必ず日本語併用保証書、故障個所などの連絡メモも同封ください。住所、氏名、電話番号をお忘れなく。記載もれのある場合は返却できない場合もあります。
④郵送以外の方法では受け付けできません（民間便は不可）。
⑤貴重品は簡易書留で郵送ください。

★ライターの正しい使い方

①オイル注入直後は、十分注意。入れすぎの場合は、ティッシュなどで必ず拭き取る。また、火気に注意してください。
②点火使用後、キャップを完全に閉じ、消火を確認する。

★本誌の定期購読をご希望のみなさまへ

「ZIPPO HOT NEWS SPECIAL ISSUE」の定期購読をご希望の方は、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記のうえ、ジッポー・サービス（名古屋）「HOT NEWS」係までハガキにてお申込みください。初回送付時に専用の郵便振替用紙を同封いたしますので、郵送手数料1,000円（年2回／税込）をお振込ください。

くわしい情報を入手するなら

[ホームページ] アメリカ本社版 http://www.zippo.com　日本版 http://www.zippo-japan.com
[ＦＡＸ情報] FAX.03-3436-6090　音声ガイドにしたがい、希望する情報BOX番号を指定する。インデックスは「0000」。
[輸入代理店] ●ライターのお問い合わせ／伊藤商事（株）☎03-3562-5811／マルカイコーポレーション（株）☎06-6443-0072
[ライター修理] 〒450-8691 名古屋中央郵便局名古屋駅前分室私書箱233号・ジッポー・サービス
〒111-8691 東京浅草郵便局私書箱47号・ジッポー・サービス東京のいずれかに送付ください。
●このほかジッポー製品は各種あります。本誌記載の表示価格は、2003年9月現在の税抜き標準小売価格です。

お問い合わせは…

© 2003 ZIPPO MANUFACTURING COMPANY
Printed in Japan 禁・無断転載

発行日／2003年9月1日　発行／ジッポー・マニュファクチャリング・カンパニー日本代表部／〒453-0021 名古屋市中村区中島町4-4　発行人／岡本信義　制作・編集／協同広告（株）名古屋支社☎052-961-6611
（株）ゼットコム　協力／伊藤商事（株）／マルカイコーポレーション（株）／伊藤忠ファッションシステム（株）